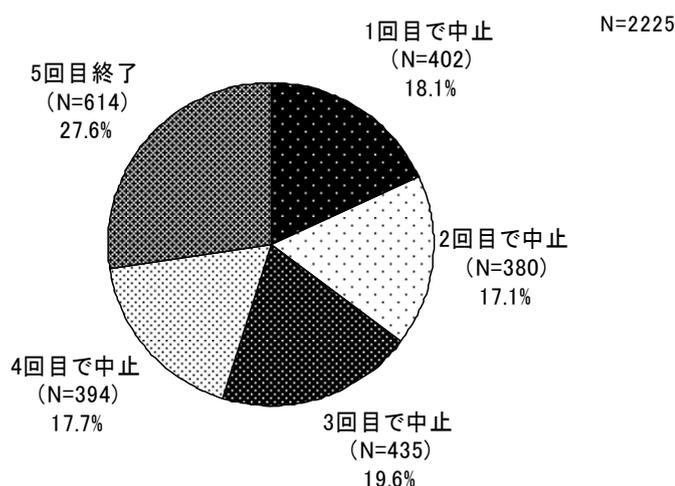


2) ニコチン依存症管理料算定回数の状況

ニコチン依存症管理料算定回数の状況についてみると、全体では「5回目終了」(27.6%)が最も多く一次調査対象患者とほぼ同様の傾向であった。

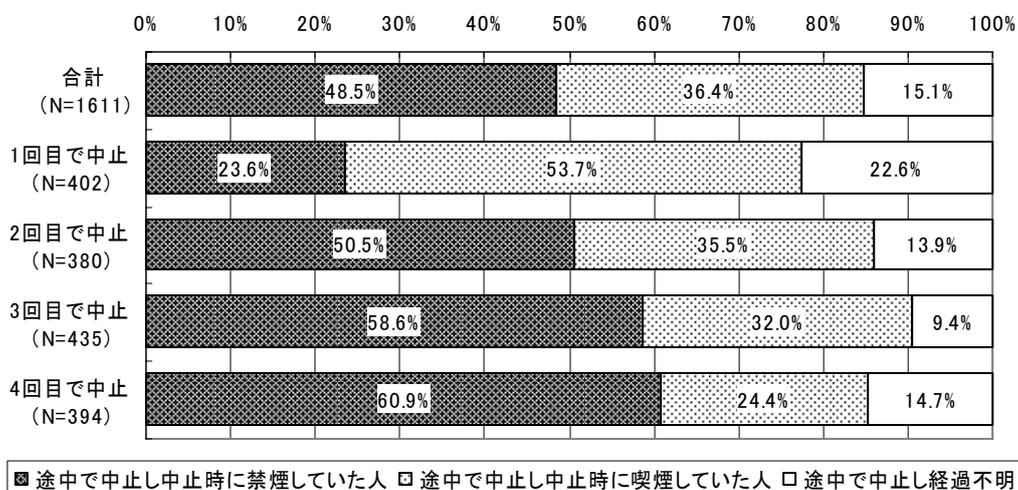
図表 37 ニコチン依存症管理料算定回数の状況



3) 5回の指導を途中で中止した患者の中止時の状況

ニコチン依存症管理料の算定を5回目より前に中止した患者 (N=1,611) では、中止時に48.5%が禁煙していた。ニコチン依存症治療を実施した回数が多いほど、中止時に禁煙していた人の割合が高くなっていった。

図表 38 ニコチン依存症治療中止時の状況



4) 5回目の指導を終了した患者の指導終了時から6ヶ月後までの状況

5回の指導を終了した患者614人における、指導終了時の状況、指導終了3ヶ月後の状況、指導終了6ヶ月後の状況を以下に示す。

回答選択肢が異なるため単純比較は難しいが、5回の指導終了時に4週間禁煙率は72.0%であったが、3ヶ月後の禁煙継続率は63.2%、6ヶ月後禁煙継続率は53.7%と減少していたことがわかった。

図表 39 指導終了時・3ヶ月後・6ヶ月後の禁煙／喫煙の状況

